

学校名	篠崎第二小学校	対象学年と人数	全校 347名
活動名	環境学習アーカイブ		
指導者	学内指導者：全教職員 学外支援者：用務主事、PTA、エコセンター (役割分担)		

目標

- 学校全体の緑化事業や環境学習の様子について、継続的に記録を行う。
- 植物栽培や環境学習の様子の記録を行い、児童や教職員の意識や意欲を向上させる。
- 学校ホームページを通じて、本校の環境学習の様子を広く、一般の方々にも周知していく。

成果

- 今年度は、理科栽培委員会だけでなく、全校児童が子どもエコクラブに入会し、各学年の植物の栽培や動物の世話、ごみの分別などを通じて、自然と触れ合い、自分たちで自然を守っていく意識や命の尊さがもてるようになってきた。
- 6年生が、えどがわエコセンターからご紹介を受けた、東京ガス出前授業「燃料電池って何だろう」を受講し、環境をよくする燃料電池について実験を通して知ることができた。その様子が、本校の環境学習と共に、江戸川区民ニュース8月1日号「みんなで目指そう！日本一のエコタウン ～第2次エコタウンえどがわ推進計画～」で紹介された。
- 1、2年生が、えどがわエコセンター主催の出前授業、環境教育プログラム「身近な生きものにふれてみよう、生きものさがし」を受講し、学校近くの「はなの広場」に出かけ、身の回りにはたくさんの生きものがあることを知った。
- 各学年の植物栽培の様子や環境学習の様子について、学校ホームページを通じて、広く周知することができた。

感想・課題等

- 今年度は、学校全体で子どもエコクラブに参加でき、児童が自分達でできるエコ活動を考えることができる良い機会となった。
- えどがわエコセンターの環境教育プログラムを出前授業にて1、2、6年生で実施することにより、児童が身近な自然や身の回りの環境について興味関心を高めながら、環境学習を行うことができた。今後の理科や生活科における指導にも役立てていける有効なプログラムであった。
- 学校ホームページにて、学校の自然や環境教育を紹介していくことで、教職員の環境学習に対する意識が向上した。今後は、より体系的な学びを深めるために、出前授業の継続的な活用を次年度年間指導計画に取り入れていきたい。

- （7／17（木））6年生は、東京ガス出前授業「燃料電池って何だろう」を受講し、環境をよくする燃料電池について実験を通して知ることができました。
<江戸川区民ニュース8月1日号「みんなで目指そう！日本一のエコタウン ～第2次エコタウンえどがわ推進計画～」で紹介されました。>
- （9／25（火））1、2年生が上篠崎はなの広場で虫捕りをしました。こども未来館とエコセンターから招いたゲストティーチャーより虫捕りのコツを聞いて、楽しく捕まえることができました。